

令和2年度 [果実の概況]

本年の果実は、秋の気温が高めに推移したことから、みかん・リンゴなど着色遅れがありました。12月に入り出荷も回復しています。クリスマス、年末需要に向けて各品目順調な出荷を見込んでいます。新型コロナの影響で、業務向けの商材動き鈍いですが、贈答用と巣ごもり需要での消費に期待します。

果実概況担当 丸果旭川青果卸売市場 果実部 和田取締役 (果実部直通48-3232・3233)

主品目	主力産地	前年対比		市況予想 (K g 単価)	概 況
		入荷量	市況		
みかん	愛媛・静岡・和歌山	並	並	400～300	安定的な出荷、価格前年並みの予想です。
りんご	青森・山形	増	やや安	300～270	大玉傾向。食味良好です。
いちご	福岡・茨城・宮城	増	並	2200～1700	中旬以降出荷量増量、価格前年並みの予想です。
干柿	長野・和歌山・山形・福島	並	並	2000～1500	作業の遅れが見えますが年末に向け数量増加予想です。
キウイ	和歌山、愛媛、ニュージー	並	並	500～450	国産は生育不良で減少しますが、輸入品は安定入荷です。
バナナ	フィリピン	並	並	300～150	入荷安定、価格前年並み予想です。
パイナップル	フィリピン	並	並	240～200	クリスマスに向けて入荷量増量、価格前年並み予想です。
グレープフルーツ	フロリダ・メキシコ	並	並	350～270	年末に向けて入荷量増加、価格前年並み予想です。
オレンジ	オーストラリア	並	並	250～230	入荷安定、価格前年並み予想です。